

## 2020 年度実施概要

学校名

洋野町立角浜小学校

採択活動名

海洋学習「ふるさと角浜」について

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海となかよし ～角浜のよさをつたえよう	1 年	生活科
2. 海となかよし ～角浜のよさをつたえよう	2 年	生活科
2. 角浜調査隊 ～角浜について知ろう～	3・4 年	総合
3. ふるさと角浜 ～角浜の未来について考えよう～	5・6 年	総合

取り組みの概要

豊かな海を素材の中心とした体験的な活動や探究的な活動を通して角浜地区にある自然や社会、人々の工夫や努力、願いへと徐々に視野を広げ、「ふるさと角浜」を誇りに思う気持ちを育てる。また、課題解決にあたって地域の良さや先人の知恵と志の高さ、産業と自然、社会との関わりを多面的・総合的に考え、学んだことを主体的に表現する子どもを育てることを目指した。今年度はコロナ禍のための臨時休校や天候の関係で、当初の計画通りにできない活動もあったが、修正を加えながら様々な体験活動を行い、児童の学習を深めることができた。

《1年生の取り組み「海となかよし」》

- 地域の海に親しむ活動として磯遊びを行いカニやツブ、ヒトデなどの生き物を捕まえて観察した。観察して気づいたことなどを絵にかいて観察カードにまとめた。実際に生き物を見たり触ったりすることで、自分たちの住む地域の海を身近に感じる事ができた。
- 磯掃除で、地域の海に落ちているごみを拾った。空き缶やペットボトルなどの細かいごみから、タイヤなどの大きなごみまで、たくさんのごみが落ちていることを知った。この活動を通して、地域の海をきれいに保ちたいという意欲をもった。

《2年生の取り組み「海となかよし」》

- 磯遊びを行い、「角浜にいる生き物カード」と比べながら、捕まえた魚やカニ、ヤドカリを観察した。角浜の海には様々な生き物がいることを知り、自分たちの地域の海に親しむことができた。
- 年間を通して地域の水産加工場や漁港など様々な場所で見学を行った。海や地域の人とふれ合うことで、地域の様子を詳しく知ることができた。
- 7月に磯掃除を行った際の磯遊びのほか、11月にも磯に歩いて出かける活動をした。季節による磯の様子の違いを感じたり、拾ったウニの殻や流木で作品作りをしたりすることで、自然への関心が高まった。

《3・4年生の取り組み「角浜調査隊」》

- 磯掃除で駆除したクボ貝と地域のほかの食材とを合わせたメニューを考え、発表会を行った。上学年に向けてプレゼンテーションの形で発表することで、表現の力が育った。
- 角浜の磯にいる生き物を観察し、生態などの特徴を調べ、図鑑にまとめた。角浜の地域に生息する海洋生物への関心を持ち、生き物の命の大切さを改めて考えた。

○地区内を走るレストラン列車に向け、角浜地区の良さをアピールするエモーション活動を行った。自分たちの調べた「角浜の良さ」を伝えるための工夫をすることができた。

《5・6年生の取り組み「ふるさと角浜」》

○角浜の海でとれるウニの殻むき作業の見学・体験、乗船体験、増殖溝見学、磯掃除等の活動を通して、個人研究で学習を進めた。

- ・他地区のウニの増殖溝を見学して角浜との違いを知るとともに、増殖溝の構造やウニの出荷量についてまとめ、今後の洋野町の漁業について考えた。
- ・海岸清掃を通して、海岸のごみの量を知ることによって環境問題に関心を持ち、ごみの被害や再利用、減量について調べ、自分たちの暮らしとのかかわりを考えた。
- ・海岸清掃の際、ペットボトルのごみが多かったことに目を向け、プラスチックごみが海洋生物に与える影響について調べた。
- ・SDGsの学習から、魚の乱獲の問題に興味を持ち、日本の漁獲量と世界の漁獲量を調べ豊かな海を守るためにできることを考えた。

○角浜の海に関する課題をもち探究活動を続けていくことで、角浜の海と世界の海との関係について考えが深まった。この学習から、角浜の海を守ることが世界の海を守ることにつながると考え、海を守るために自分たちの生活を変えようと意識することができた。



磯での生き物の観察の様子



磯探検の様子



エモーション活動の様子



海岸清掃の様子